

# 新年度予算にみる 勝山市の動きを チェック!



平成22年度の予算について、市議会ではどんな審議がされているのか。特徴的な内容を「特集」しました。

## 1 平成22年度予算 ① 財政状況について

平成22年度予算について市は「財政調整基金取り崩しに頼らず、財政健全化へ着実に前進している。」としていますが、議会では「公共料金の値上げで市民負担は増加しており、単純に財政が健全化したとは言えない。」との指摘がありました。

## ② 今後の歳入について

議会では「緊急経済対策で市の負担が少なくなったが、これが終了する23年度以降は市の財政が厳しくなる。」との指摘がありました。

## 2 重点配分と市民要望との整合性について

投資的経費は前年度比9.5%増の約14億1000万円で、平泉寺ガイダンス施設整備やまちづくり交付金事業などに重点配分しています。

一方、市民要望の生活に密着した市道や水路の改修などの市単独事業費はピーク時に比べて半減しています。

議会では、「事業の優先順位を考慮して大型事業の見直しを検討することが必要。」との意見がありました。

## 特集1 市民参加の総合計画づくりについて

総合計画特別委員会では、市民アンケート結果の概要や今後の日程等について、また小中学校再編、新体育館の建設及び長尾山総合公園第2期事業の見直しについての素案が示されました。

市民アンケートの結果については集計の速報のほか、今後の具体的なスケジュールが示されました。これからアンケートのクロス集計等による分析を進め、各地区の座談会等で発表する予定とのことでした。

今後予定している政策提案の募集については、議会の意見が実現したもので、パブリックコメントを含めた政策提案の募集、高校生のアンケートが実施される予定で、市民からの意見が大いに求められます。

これらの意見提案等の情報は、随時市民に開示し報告すると共に本人に回答することも予定されています。

## 特集2 小中学校の再編と新体育館について

勝山市では今後子どもの減少が確実視され、教育環境を守るために小中学校の再編を考えざるを得ない状況となりました。

これに伴い市は、図に示すような学校再編と、関連する新体育館の建設の素案を示しました。

これに対し議会では、「勝山市の財政力で全ての事業が可能な検討が必要がある。事業費の概算と中期財政計画を示すべきである。」と

「地区別座談会においては、それぞれの施設設置場所について、他の案も含めて検討すべきという意見もあり、一方で小中学校の再編により空き施設となる学校の校舎や体育館の活用など、今後の課題について意見が出されました。」

